

令和3年度 庄原DMO事業計画

令和3年度は、第2期庄原市観光振興計画（R1～5年）を基本としながら、新型コロナウイルス感染拡大によるマーケットの変化を踏まえ、観光事業者等の支援をはじめ、マーケティングに基づく「魅力ある観光プロダクト」の開発、受入環境の整備、プロモーションなど、稼ぐ観光地域づくりの舵取り役として、観光消費額の向上とシビックプライドの醸成による地域の活性化に取り組む。

■ 観光を取り巻く状況

○新型コロナウイルスの影響

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大による移動の自粛や、休業要請など、観光事業者の経営状況の悪化、減少が進んでいる。
- ・ 民泊型修学旅行やバスツアーの中止。
- ・ 混雑を避けながらの近場旅行（マイクロツーリズム）への意向が強い。
- ・ 感染対策とともに、密の回避を求める大自然（アウトドア）や貸切旅のニーズが高い。
- ・ テレワークの普及によるワーケーションの推進。
- ・ ネット通販、テイクアウト、お取り寄せグルメのニーズが高い。
- ・ 新型コロナウイルス対策の支援メニューが整備。

○旅行スタイルの変化 「多様化するカスタマーニーズ」

	●これまで（昭和～平成）	●現在（令和）
●人々の暮らし	・ 人口増加、経済成長 ・ 大量消費	・ ライフスタイルの個性化 ・ 個人の価値観重視
●旅のスタイル	・ 団体旅行（旅行商品） ・ いいとこどり周遊旅行	・ 個人手配旅行（9割） ・ 滞在交流型旅行
●情報収集	・ 紙媒体等マスメディア	・ インターネット（WEB、SNS）
●予約	・ 旅行会社	・ インターネット（OTA）
●旅の動機	・ 非日常型	・ 異日常型（日常風景が資源）
●旅の目的	・ 物見遊山	・ 目的型旅行（体験メイン）
●地域と旅行者の関係	・ 宿に旅行者を囲い込む	・ 暮らすように滞在
●地域ブランディング	・ 観光地の紹介	・ その土地のストーリーを紹介

○今後、地域で求められていること（観光地域づくりの視点）

①マーケティングの強化（顧客を知る）

- ・ 事実データに基づいた地域の現状認識を揃え、今後の戦略を検討していくことが重要
- ・ 思いつき、思い込み、経験、勘 → 事実データに基づく戦略策定
- ・ 新規→地域全体のリピーター化が重要。また、「優良顧客」の可視化が必要

②マーケットインの観光プロダクト開発

- ・ 顧客ニーズを踏まえた観光プロダクトの開発

③ファン、リピーターづくり

- ・ 顧客の満足度向上→リピートが集客増のポイント
- ・ 「合わせ技」で満足度を向上させる。（交通＋体験＋宿泊＋食事＋買い物等）

■ R3年度の戦略（コロナ禍、アフターコロナに対応）

①観光事業者の支援

- ・ 新型コロナ対策支援等の情報提供、課題解決支援
- ・ 定期訪問、マーケティングレポート、メルマガ等、コミュニケーションの充実
- ・ 宿泊商品造成支援事業（近隣からの誘客キャンペーン）
- ・ プロモーション・プロダクト開発・人材育成支援

②新たなマーケットの創出（観光プロダクト開発）

- ・ サイクルツーリズム（Eバイクのレンタサイクルの構築）
- ・ 企業研修型ワーケーション（SDGs、地域課題等をテーマ）
- ・ 質×量を備えたプロダクト開発・受入環境整備
- ・ ネット通販サイトの構築
- ・ お取り寄せグルメの開発

③ファン・リピーター（関係人口）の拡大

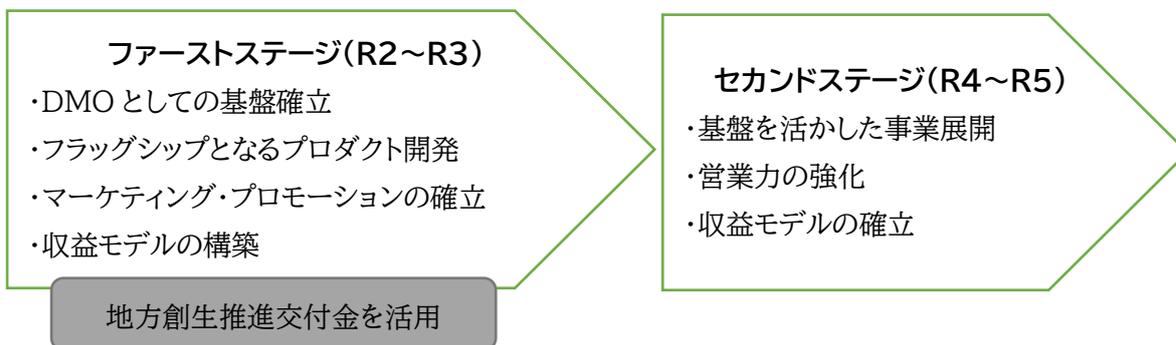
- ・ 顧客志向を知るためのマーケティング（リピーターを増やす）
- ・ 魅力の見える化（WEBサイト特集、Instagram、YouTubeチャンネル等）
- ・ オンラインツアー
- ・ 一夜限りの美食イベント（庄原の美食と創り手の思いに触れる旅）

④安定財源の確保

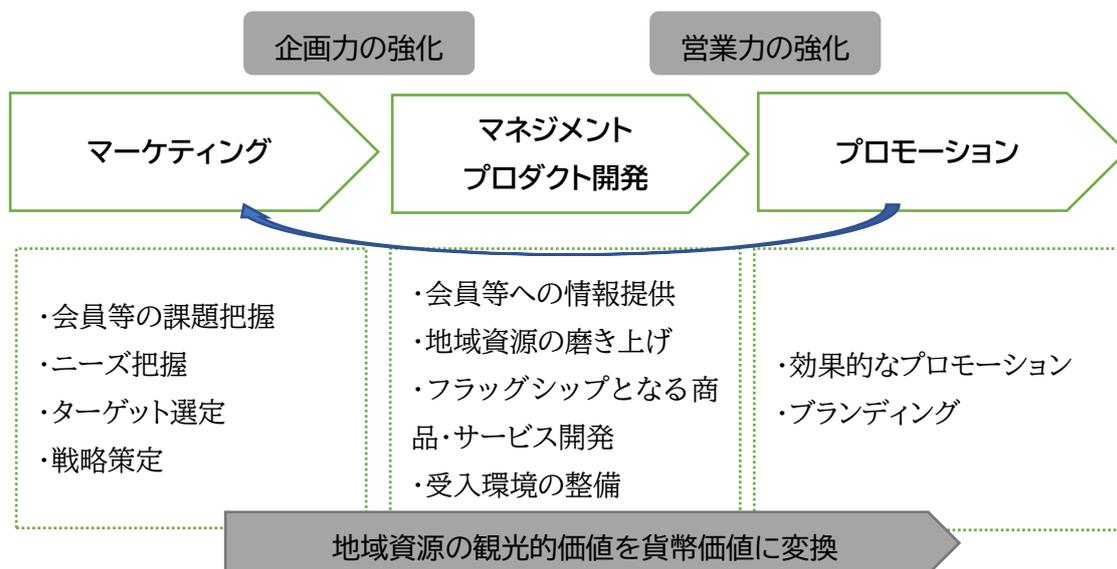
- ・ 庄原観光ナビOTA（オンライン・トラベル・エージェンシー）サイト手数料
- ・ 合宿手配など受注型企画旅行

- ・ 芸備線ツアーや MICE など行政等と連携した募集型企画旅行
- ・ PB 商品の開発
- ・ ネット通販サイトの運営
- ・ シティプロモーションや移住定住、地域づくりなど公益的な業務の受託
- ・ 観光事業者と連携できるサービス
- ・ 広告代理店機能

■ DMO 形成・確立に向けた事業展開



■ 庄原 DMO の事業サイクル



1. マーケティング事業

【目的】

国内外の観光を取り巻く急激な環境変化に対し、客観的なデータに基づく施策展開が求められる中、継続的なデータ収集・分析を行い、観光客の属性や動向、満足度、ニーズ等を把握し、今後の観光戦略や観光プロダクト開発、プロモーションなどに活かす。

また、調査結果については、会員等へフィードバックし、観光プロダクト等の魅力向上につなげる。

【戦略】

- ・ 県観光連盟（HIT）と連携した効果的・効率的なマーケティング
- ・ 観光マーケティングを内製化し、持続可能な仕組みを構築
- ・ マーケティング情報の共有し、戦略やサービス改善につなげる。

【概要】

① 観光実態調査（庄原DMO確立支援補助金事業 1,000 千円）

観光客の属性や動向等を把握するため、宿泊施設や道の駅等交流拠点施設において、観光客アンケートを実施する。

② WEBマーケティング（庄原DMO確立支援補助金事業 1,000 千円）

本市観光のターゲット選定や効果的な情報発信につなげるため、公式観光サイト（庄原観光ナビ）やSNSのアクセス解析を行う。

2. プロモーション事業

【目的】

マーケティングに基づき本市観光の広報媒体の充実を図り、本市観光の認知度向上および誘客促進を図る。

【戦略】

・ 関係団体や専門家等と連携し、オウンドメディア（WEBサイト「庄原観光ナビ」、SNS）の魅力化を図り、アクセスの向上につなげる。

【概要】

① 広報媒体の制作（庄原DMO確立支援補助金事業 10,000 千円）

- 庄原観光ブランド媒体の制作
 - ・ ブランドコンセプトの磨き上げ／ポスター制作／プロモーション動画制作
- 公式観光サイト新ページ制作

- ・特集記事等による魅力発信（里山Eバイク、フォトツーリズム、パワースポットツアー、スポーツ合宿、企業研修型ワーケーション、フードツーリズム等）
- インバウンドサイトの制作（英語・フランス語・繁体語対応）
- 観光ガイドブック制作（特集記事等のリニューアル）

② デジタルプロモーション（庄原DMO確立支援補助金事業 1,000 千円）（庄原市観光地域づくり補助金事業 605 千円）

国内外に広く効果的に観光情報を発信するため、専任担当者を配置し、公式観光サイト「庄原観光ナビ」およびYouTubeチャンネル、SNSを運用し、タイムリーな情報配信に努める。また、WEBマガジンなど、ターゲットに応じた広告媒体を選定し、誘客プロモーションを行う。

③ 旅行商品造成誘客事業（庄原市観光地域づくり補助金事業 758 千円）

本市の観光資源を組み込んだ旅行商品の造成を図るため、旅行会社等の視察の招聘を行う。また、旅行会社へのツアー造成助成等を行い、本市への誘客促進を図る。

④ 雪山誘客促進事業（広島県助成金事業 2,000 千円）

庄原市やスキー場関係者等と連携し、マーケティングやプロモーションなど、雪山誘客への促進を図る。

3. マネジメント事業

【目的】

観光人材を育成するため、観光地域づくり講座の開催や各種セミナーへの参加、先進地視察研修等を実施する。また、会員等の業務サポートをはじめ課題解決およびビジネス創造のマッチング機会を提供し、事業連携を推進する。

【戦略】

- ・「学ぶ、ささえる、つなげる」をテーマに、観光事業者や関係団体など多様な関係者を巻き込んだネットワークを構築する。
- ・Eバイクのレンタサイクルの仕組みを構築し、二次交通アクセスの改善を図る。

【概要】

① 観光人材の育成（庄原DMO確立支援補助金事業 1,000 千円）

WEBマーケティングやSNS発信、観光・事業ノウハウが学べる観光地域づくり講座等を実施する。

② 二次交通アクセスの改善事業 (HIT 補助金事業 6,678 千円) (庄原市観光地域づくり補助金事業 937 千円)

備後庄原駅や宿泊施設等の観光・交通拠点に E バイク等を整備し、レンタサイクルターミナル開設することによって、二次交通アクセスを改善し、市内の周遊促進と観光客の満足度向上を図る。(備品購入、プロモーション等)

4. 着地型観光推進事業

【目的】

本市の観光消費額の向上を図るため、観光客の周遊促進と滞在時間の延長につながる観光プロダクトの開発に取り組む。

【戦略】

- ・観光プロダクトの量と質の充実
- ・手数料収入など、自主財源の確保に向けた仕組みを構築する。

【概要】

① 体験プログラムの開発・販売促進 (庄原DMO確立支援補助金事業 2,000 千円)

コロナ禍でアウトドアアクティビティのニーズが高まる中、本市の美しい里山景観をはじめ地域資源の魅力を活かしたサイクルツーリズムの開発およびプロモーションに取り組む。

○里山サイクルツーリズム

- ・受入環境整備 (旅行商品企画、モニターツアー、ガイド育成、セミナー等)
- ・プロモーション (WEB ページ、マップ、動画等の広報媒体制作)

② 着地型観光ツアーの開発・販売促進 (庄原DMO確立支援補助金事業 2,000 千円)

令和 2 年度に調査したフォトジェニックスポットやパワースポットなどの地域資源を巡る滞在周遊プランを企画し、プロモーションに取り組む。

○フォトツーリズム

- ・広報媒体 (WEB ページ、チラシ等) の制作、モニターツアー

○パワースポットツアー

- ・広報媒体 (WEB ページ、チラシ等) の制作、モニターツアー

○ヘルス (ウェルネス) ツーリズム

- ・広報媒体 (WEB ページ、チラシ等) の制作、モニターツアー

③ インストラクター・ガイドの養成 (庄原DMO確立支援補助金事業 500 千円)

着地型観光ツアーを案内するインストラクター・ガイドを養成する講座を開催し、旅

行商品化につなげる。

④ 体験型教育旅行誘致（庄原DMO確立支援補助金事業 1,000 千円）

学校からのニーズの高いSDGs（探求）プログラムの販売促進に向け、モニターツアーの実施や広報媒体を制作し、プロモーションの強化を図る。

○SDGsプログラムのプロモーション

- ・ 広報媒体（WEBページ、チラシ等）の制作、モニターツアー
- ・ 旅行会社等への営業活動

⑤ 滞在プランの開発・販売促進（庄原DMO確立支援補助金事業 5,000 千円）

宿泊消費額の向上を図るため、地域資源（課題）をテーマとした企業研修型ワークショップの開発など、新たな旅のスタイルに対応した滞在旅行商品の開発に取り組み、プロモーションを強化する。

○企業研修型ワークショップの推進

- ・ プログラム開発、ファシリテーター育成、モニターツアー
- ・ 広報媒体（WEBページ、チラシ等）の制作

⑥ 研修・合宿の誘致（庄原DMO確立支援補助金事業 500 千円）

宿泊消費額の向上を図るため、スポーツ合宿等の誘致に向けたプロモーションに取り組む。

○合宿プロモーション

- ・ 広報媒体（WEBページ、チラシ等）の制作、モニターツアー

5. 地域商社事業

【目的】

地域産品やグルメのマーケティング・プロモーションの基盤を構築し、庄原ファン（関係人口）の拡大と地域経済の活性化を図る。

【戦略】

- ・ 「食」のブランドイメージを発信し、ファンの拡大を図る。
- ・ ネット通販サイトの運営など、地域産品の販売促進を図る。

【概要】

① 庄原フードツーリズム事業（庄原DMO確立支援補助金事業 2,000 千円）

「食」を切り口とした観光（フードツーリズム）について、比婆牛やジビエ、そば、乳製品、酒、ヴィーガン等を柱にプロモーションを強化し、庄原の食のブランド化およ

び観光誘客につなげる。

○庄原フードツーリズムの魅力発信

- ・WEBサイトで特集記事掲載（比婆牛グルメ、郊外カフェ等）

○庄原フードツーリズムの魅力向上

- ・一夜限りのグルメイベント「庄原の美食と創り手に触れる旅」

② 特産品販売促進事業（庄原DMO確立支援補助金事業 2,000 千円）

道の駅等交流拠点施設などにおける特産品の観光消費額の向上を図るため、マーケティングによる市場ニーズを捉えた新たな商品開発の支援に取り組む。

○特産品開発販売促進

- ・道の駅等交流拠点施設の特産品開発・販売促進

③ 地産外商事業（庄原DMO確立支援補助金事業 7,500 千円）

コロナ禍で、通信販売やお取り寄せのニーズが高まっている中、市外へ広く流通させる商品開発や、ふるさと納税の返礼品等の充実、ネット通販サイトの構築など、通信販売による販路拡大の基盤を構築する。

○地産外商

- ・庄原DMOのPB商品の開発・販売促進
- ・ネット通販サイトの構築
- ・庄原お取り寄せグルメの開発

6. 旅行業事業

【目的】

地域限定旅行業を活かし、地域の観光資源の活用や多様化する観光客へのニーズに対応するため、旅行商品や体験プログラムを販売し、庄原ファンの拡大を図る。

【戦略】

- ・「今だけ、ここだけ、あなただけ」のオーダーメイドな受注型企画旅行商品を開発。
- ・庄原観光ナビにOTAを構築し、旅行商品の流通を促進させる。

【概要】

① 着地型観光ツアーの販売（庄原市観光地域づくり補助金事業 600 千円）

帝釈峡や桜巡り、トレッキングなど、本市を代表する観光地をつなぐ人気の着地型観光ツアーや芸備線活用ツアー等を実施し、本市への誘客を図るとともに、周遊モデルコースを広く発信する。

② ラフティング体験の販売

西城川でのラフティング体験について、体験型教育旅行をはじめ、県内の親子連れをターゲットにプロモーションを強化する。

7. 受託事業

【目的】

観光事業者・団体等の業務を受託することにより観光振興に寄与するとともに、当機構の自主財源の確保に取り組む。

【戦略】

・当機構の強みを活かした観光関連事業の新たな受託について、営業活動に取り組む。

【概要】

① 古民家ステイ事業

(株)瀬戸内ブランドコーポレーションの関連会社「古街計画」の古民家宿3棟について管理運営の業務を受託するとともに、宿泊客の誘致および周遊観光への促進を図る。

② 事務局事業

昨年度から引き続き、次の団体等の事務局を受託する。

- 庄原市さとやま体験交流協議会
- しょうばら花会議

③ 庄原市宿泊割引等支援業務（庄原市宿泊商品造成事業 17,009 千円）

新型コロナウイルス感染拡大で、大きな影響を受けている宿泊業者や旅行業者が造成した宿泊商品に対し、割引分を支援する「庄原市宿泊割引等支援業務」を市から受託し、各事業者へ支援を行う。

8. 観光地域づくり事業

① 地域観光の振興・イベント等の支援（庄原市観光地域づくり補助金事業 8,488 千円）

各エリアが担ってきた地域（観光）イベント等の各種事業を引き続き、庄原市観光地域づくり補助金で支援するとともに、事業連携やプロモーション等を支援し、事業効果の向上を図る。